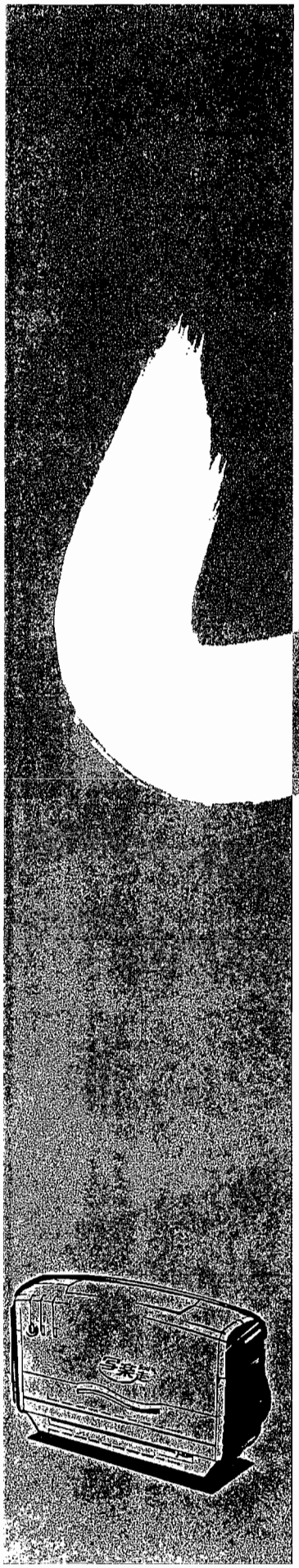


写楽走 Sou

取扱説明書（保証書在中）

●目次

はじめに

写楽走の操作手順

安全にお使いいただくために

準備する

内容品をお確かめください 1
各部の名称 2
充電のしかた 4
フィルムの取り付けかた 6
原稿について 8
用紙について 9

コピーする

読み取り／転写 10
読み取り／転写のご注意 14
縮小／拡大して転写 16
ワンポイントアドバイス 18

その他

故障かな？　とお考えの前に 20
日常のお手入れとご注意 22
主な仕様 24
別売品について 25
アフターサービスについて 25

保証規定

保証書

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

はじめに

このたびは、写楽走をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書には、写楽走の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。写楽走の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、ご使用になる前に必ず本書をお読みください。
また、写楽走をご使用の際にご不明な点などありましたときにも本書をご利用ください。
なお、本書の巻末には保証書が付いていますので、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

富士ゼロックス株式会社

リサイクル電池
Ni-Cd Fuji Xerox Co., Ltd.

寿命になったニカド電池、機器を廃棄する際に取り出したニカド電池は貴重な資源ですので、再利用のためお買い上げいただいた販売店またはお近くの「電池パックリサイクル協力店」へお持ちください。

この取扱説明書の中で ⚠ と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

ご注意

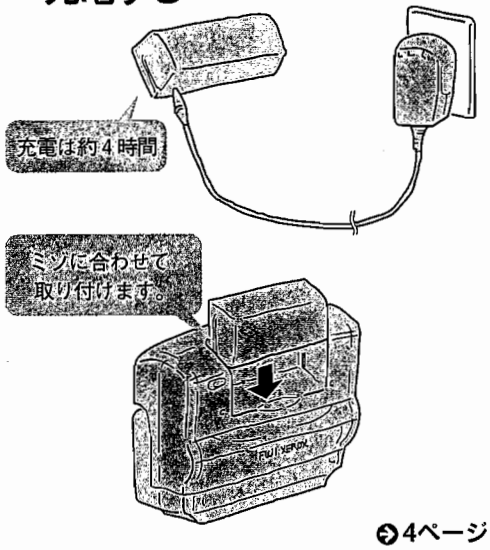
①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。
万一故障などが発生した場合、責任を負いかねることがございますので、ご了承ください。
⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。
本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が課されることがあります。

〔XEROX〕、〔THE DOCUMENT COMPANY〕は登録商標です。

写楽走の操作

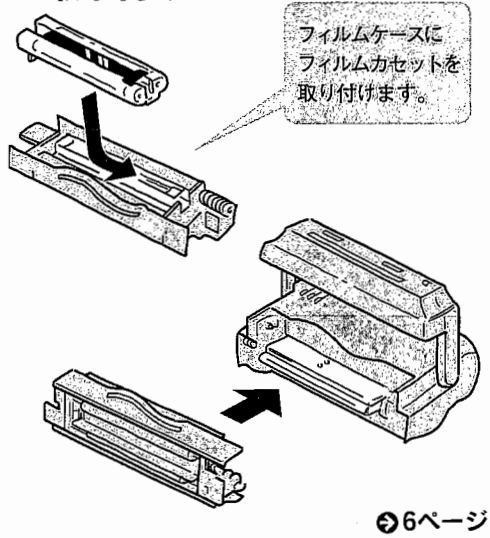
まず、準備する

1. バッテリーパックを充電する



4ページ

2. フィルムカセットを取り付ける

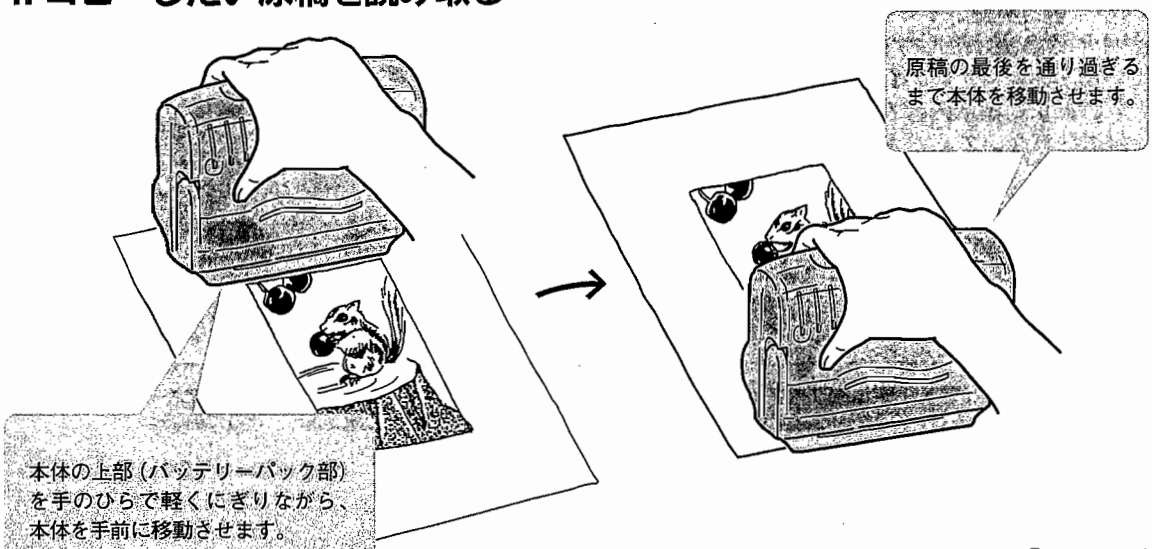


6ページ

手順

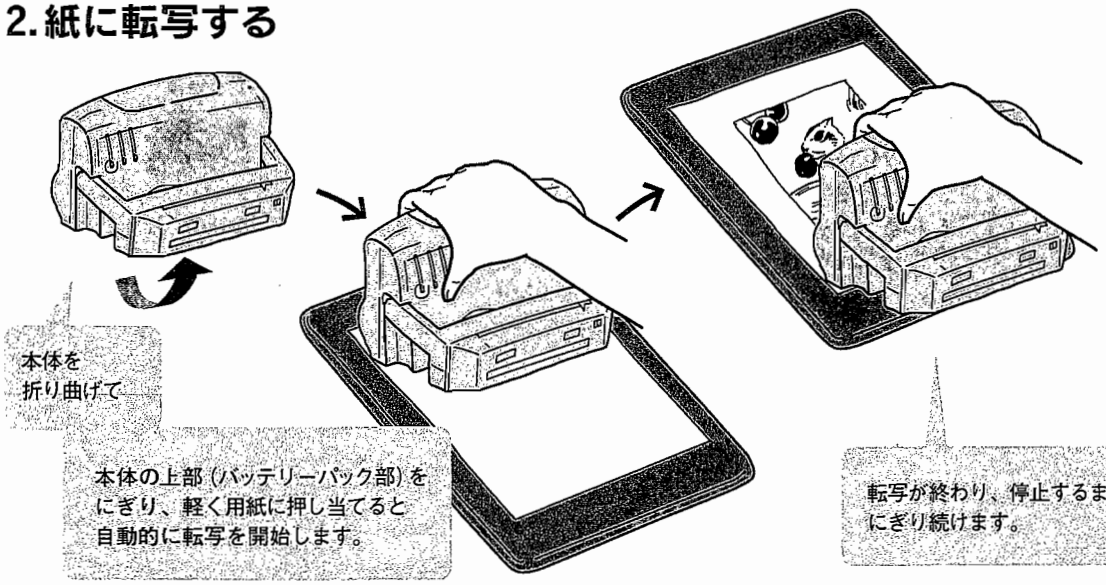
コピーする

1. コピーしたい原稿を読み取る



10ページ

2. 紙に転写する



12ページ

安全にお使いいただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にお使いいただくために」を最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う事が想定される内容および物的損害の発生が想定される事項がある事を示しています。

⃠ 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁　止

分解禁止

接触禁止

● 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示

電源プラグを抜け

⚠ 警告

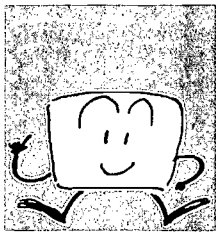
- 写楽走本体、バッテリーパックおよび充電器を改造したり、部品を変更して使用しないでください。発煙や発火の原因となります。
- 転写中のサーマルヘッド部は高温になっています。人体などに直接転写しないでください。やけどの原因となります。
- 本体使用中に次のような現象が発生したときは、ただちに使用を中止し、電源スイッチを切ってバッテリーパックを本体から取り外してください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると発火の恐れがあります。
  - ▸ 機械本体から発煙したり、本体の外側が異常に熱くなったとき
  - ▸ 異常な音や臭いがするとき
  - ▸ 機本体内部に水が入ったとき
- 充電器はコンセントやプラグの形状、電圧、周波数が適切かどうか確認して使用してください。また、たこ足配線しないでください。たこ足配線をすると、分岐コンセント部が発熱し、発火や感電の原因となります。なお、充電器の定格電源については、本書の24ページを参照してください。
- 充電器の電源プラグに絶対に濡れた手でさわらないでください。感電の恐れがあります。
- 充電器の電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを痛め、火災や感電の原因となります。
- 電源コードの芯線が露出したり断線するなど、電源コードが痛んだ場合は販売店にご相談ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- 充電器の出力コネクター部を金属などで短絡しないでください。充電器が発熱し、発火や感電の原因となります。また、充電が終了したらコンセントからはずしてください。
- 付属の充電器はこの製品にのみ使えるものです。この充電器を他の機器の充電に使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

- 本体使用中に次のような現象が発生したときは、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると発火の恐れがあります。
  - ▸ 機械本体から発煙したり、本体の外側が異常に熱くなったとき
  - ▸ 異常な音や臭いがするとき
  - ▸ 機本体内部に水が入ったとき
- バッテリーパックの端子をネックレスなどの金属で触れてショートさせないでください。電池の発熱や破裂、液もれを起こし、けがをしたり周囲の汚れの原因となることがあります。また、ショートを防ぐために、バッテリーパックは本体にセットした状態で保存したり持ち運んでください。
- 写楽走本体、バッテリーパックおよび充電器を水にぬらしたり、火の中に投げ込んだりしないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないよう気をつけてください。
- 本機を夏季の自動車内、ストーブやヒーターなどに近い場所に放置しないでください。
- 保管するときはソフトケースに入れてください。また、直射日光の当たる場所、高温多湿になる場所、ホコリの多い場所に保管しないでください。
- 充電器はコンセントに確実に差し込んで使用してください。差し込みが不十分のまま充電すると、コンセント部が発熱し発火や感電の原因となります。
- 充電器の電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

その他

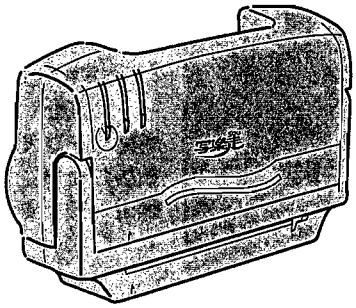
- 本機は飛行機内での使用が制限される場合があります。飛行機内での使用については各飛行機会社の指示に従ってください。
- 本機を落としたり、強い振動や衝撃を与えないでください。
- 重いものを上にのせないでください。
- 保管や携帯の際は、機械の保護のためソフトケースに入れて持ち運んでください。
- 転写状態（本体を折り曲げた状態）で本体を放置しないでください。
- 本機を0℃ 前後の冷えた所から暖かい所へ急に移したときや、湿気の多いときなどに使用すると、画像が乱れることがあります。これは機械の内外部に露が発生するためで、しばらくすると正常に戻ります。
- 本機をテレビやスピーカーなど磁気が強いものの上に放置しないでください。
- この取扱説明書に記載されていない操作は行わないでください。故障の原因となります。
- ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなどの電波障害が発生し、電波障害の原因が本機であると考えられる場合は、本機の電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合せて障害を防止してください。
  - ▸ 本機とラジオ、テレビ双方の距離を離してみる。
  - ▸ 本機とラジオ、テレビ双方の位置や向きを変えてみる。
  - ▸ 本機とラジオ、テレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
  - ▸ 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
  - ▸ ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。
- 充電が終わったら、必ず充電器のプラグをコンセントから抜いてください。またバッテリーパックからプラグを抜いてください。
- 充電中、充電器とバッテリーパックが暖かくなることがありますが、異常ではありません。
- 火の近くや、高温、高湿度の場所での充電や保管は避けてください。
- バッテリーの寿命を長く保つため、長時間（24時間以上）の充電はしないでください。
- バッテリーパックを使いきらないうちに充電を繰り返すと、使用できる時間が短くなることがあります。「入」ランプが点滅するまで使いきってから充電してください。また、バッテリーパックは電池を使いきった状態で保管することをお薦めします。



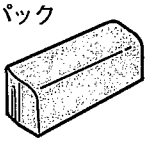
内容品をお確かめください

本体付属品として次のものがそろっているかどうかお確かめください。
もし不足品がありましたら、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

● 本体

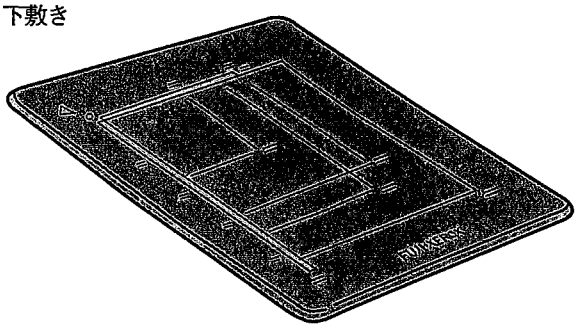


● バッテリーパック

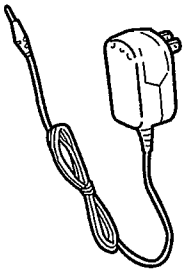


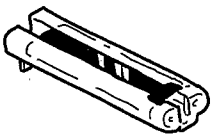
● ソフトケース

● 下敷き



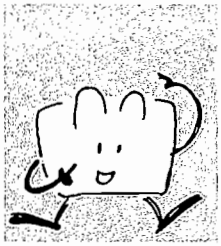
● 4時間充電器





● フィルムカセット
（ブラック）

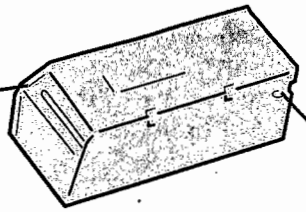
● 本書
（保証書在中）



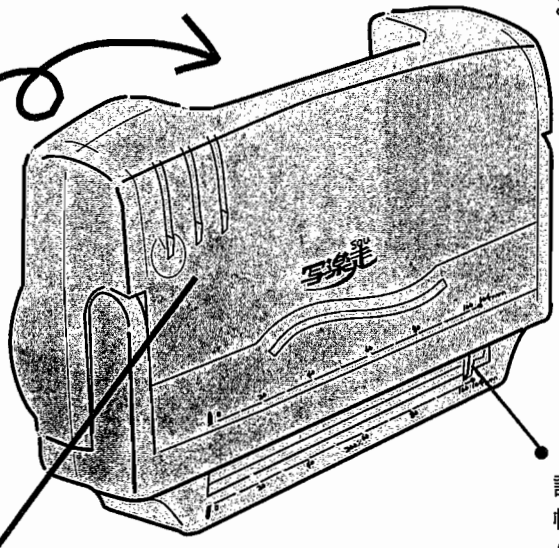
各部の名称

前面

● **バッテリーパック**
付属の充電器で約4時間充電し、本体にセットします。

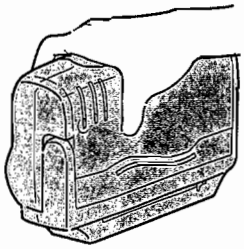


● **充電器差し込み口**
充電するとき、充電器のプラグをここに差し込みます。



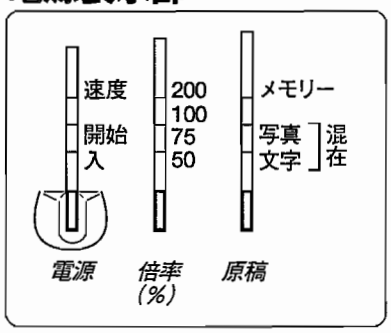
バッテリーパックをここに取り付けます。読み取りや転写するときバッテリーパック上部をにぎると、スイッチが入り、開始ランプが点灯します。

使用済みのバッテリーパック（ニカド電池）は、短絡（ショート）防止のために、端子を絶縁テープで貼るなどの対策を講じた後、乾電池等の他の電池と混ぜないように保管してください。



● **レバー**
読み取る幅を指定するレバーです。
幅は2mm間隔で設定できます。
（目盛りはmm単位）

電源表示部



● **電源ボタン 入ランプ**　電源を入れると［入］ランプが点灯します。
バッテリーが消耗し、充電が必要になると［入］ランプが点滅します。

● **倍率（%）ボタン**　転写するときに、倍率を選択します。
［100］→［200］→［50］→［75］の順に切り替わります。

● **原稿ボタン**　読み取る原稿のタイプを選びます。
［文字］→［混在］→［写真］の順に切り替わります。
文字：緑色ランプ
混在：緑色・オレンジ色ランプ両方
写真：オレンジ色ランプ

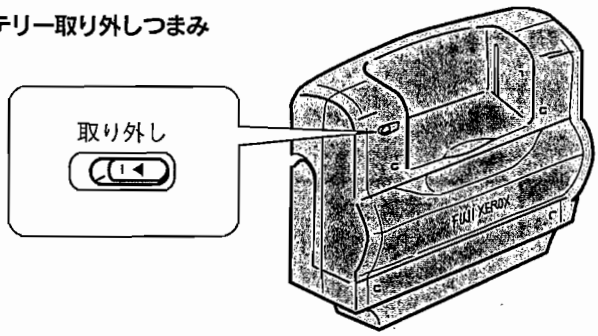
● **開始ランプ**　読み取りや転写ができることを示します。

● **速度ランプ**　読み取りや転写のスピードを示します。速度が速すぎると赤色ランプが点灯します。

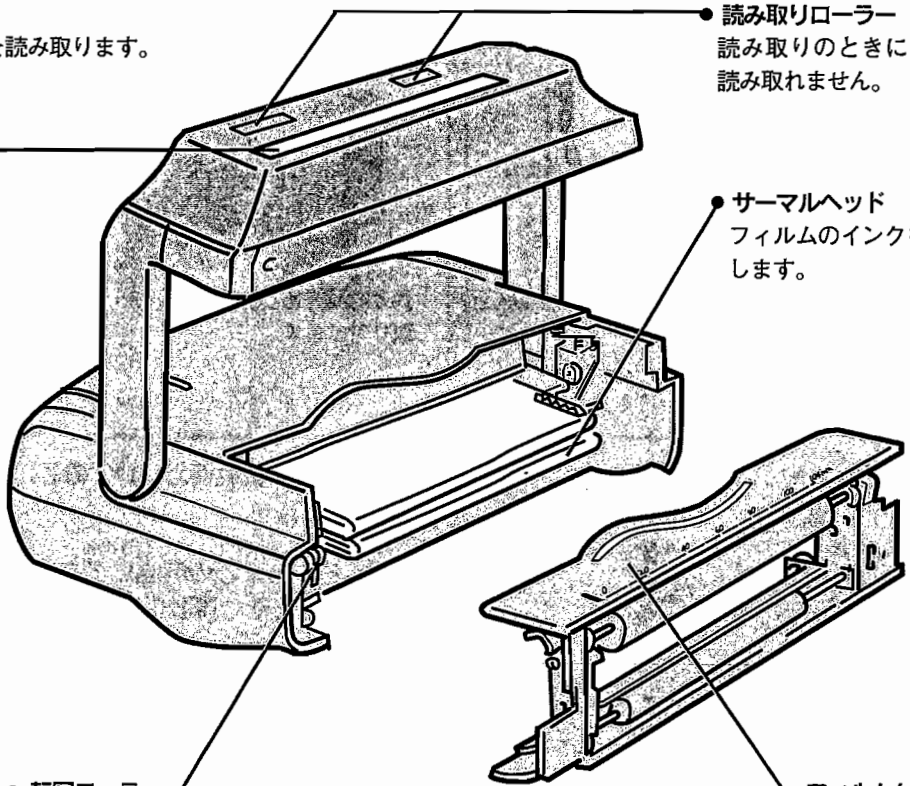
● **メモリーランプ**　読み取られた容量を示します。メモリーがいっぱいになると、赤色ランプが点灯します。

背面

●バッテリー取り外しつまみ



内部



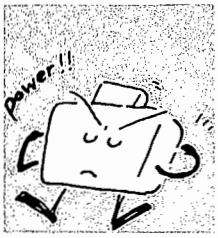
● **読み取り部**
ここで原稿を読み取ります。

● **読み取りローラー**
読み取りのときに回らないと、読み取れません。

● **サーマルヘッド**
フィルムのインクを用紙に転写します。

● **転写ローラー**
転写のとき脱輪すると、機械が停止し転写できません。

● **フィルムケース**
フィルムカセットをこの中にセットします。

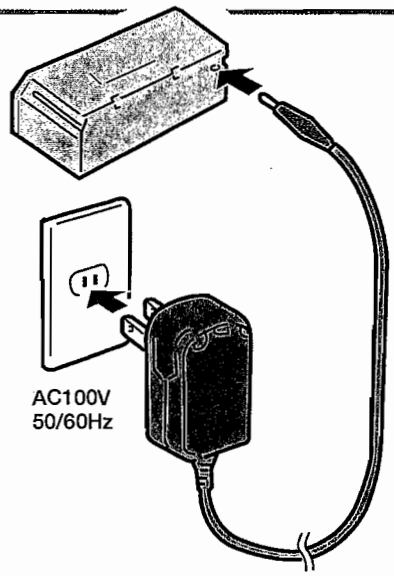


充電のしかた

バッテリーパックを充電する

お買い上げ後、初めてご使用になる場合には必ず充電をしてください。
（バッテリーパックは、充電されずに出荷されています。）

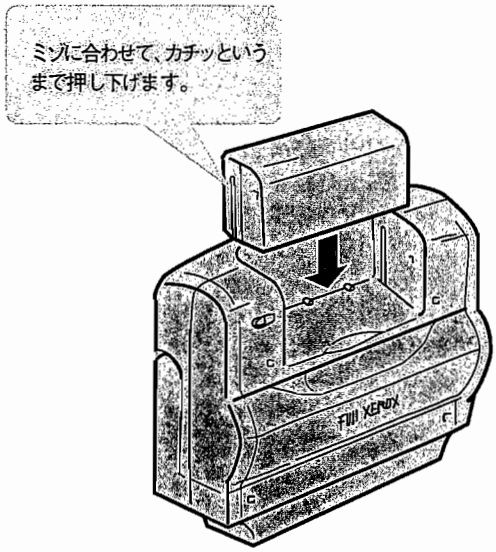
1



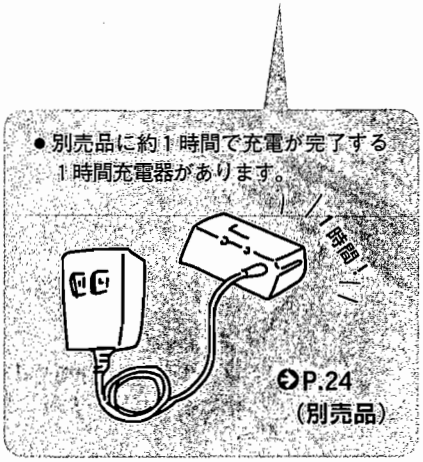
約4時間充電します。プラグはコンセントにきちんと差し込んでください。

※ AC100V以外の電圧のコンセントには差し込まないでください。

2



約4時間充電したら、バッテリーパックを本体に取り付けます。



バッテリーパック充電時についてのご注意

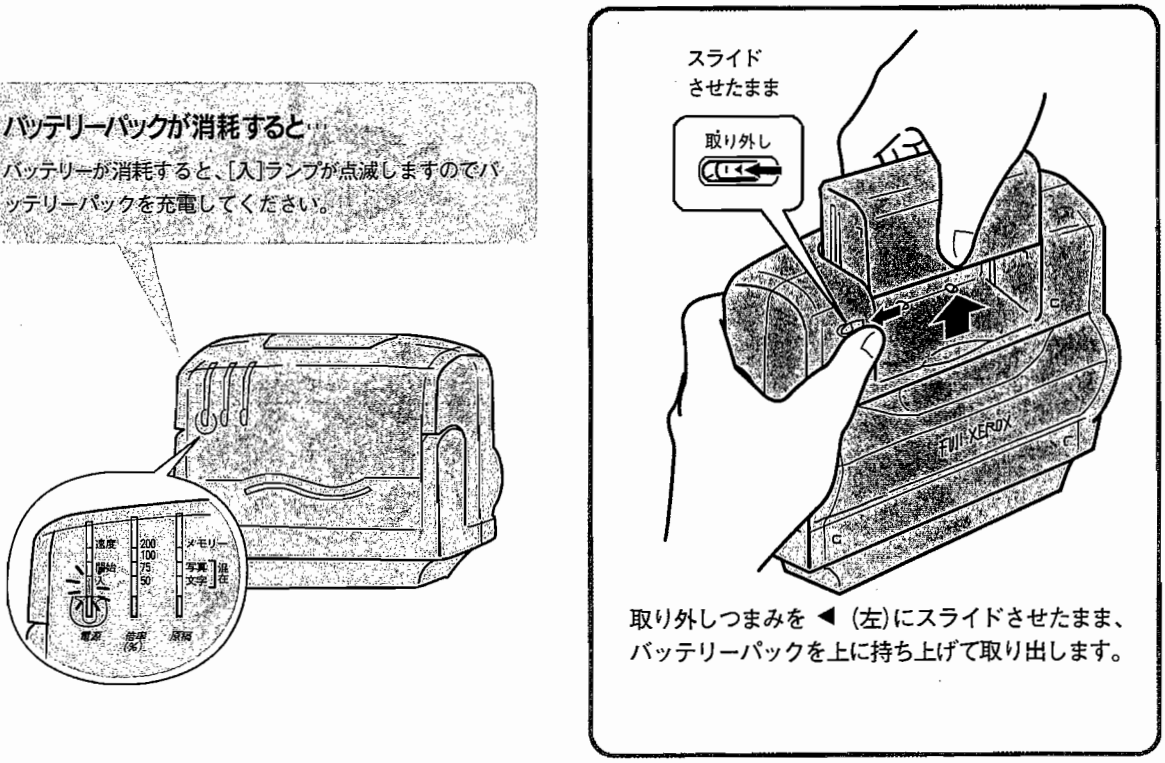
⚠ 警告

- 付属の充電器はこの製品にのみ使えるものです。この充電器を他の機器の充電に使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 写楽走本体、バッテリーパックおよび充電器を分解または改造したり、部品を変更して使用しないでください。発煙や発火の原因となります。

⚠ 注意

- バッテリーパックの端子をネックレスなどの金属で触れてショートさせないでください。電池の発熱や破裂、液もれを起こし、けがをしたり周囲の汚れの原因となることがあります。また、ショー

バッテリーパックの取り外しかた



取り外しつまみを ◀ (左)にスライドさせたまま、バッテリーパックを上に持ち上げて取り出します。

バッテリーパックが消耗すると…

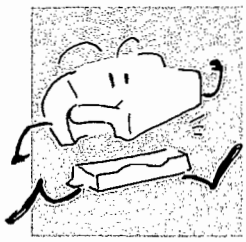
バッテリーが消耗すると、[入]ランプが点滅しますのでバッテリーパックを充電してください。

トを防ぐために、バッテリーパックは本体にセットした状態で保存したり持ち運んでください。

- 写楽走本体、バッテリーパックおよび充電器を水にぬらしたり、火の中に投げ込んだりしないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないよう気をつけてください。

その他

- 充電が終わったら、必ず充電器のプラグをコンセントから抜いてください。また、バッテリーパックからもプラグを抜いてください。
- 充電中、充電器とバッテリーパックが暖かくなることがありますが、異常ではありません。
- 火の近くや、高温、高湿度の場所での充電や保管は避けてください。
- バッテリーの寿命を長く保つため、長時間(24時間以上)の充電はしないでください。
- バッテリーパックを使いきらないうちに充電を繰り返すと、使用できる時間が短くなることがあります。「入」ランプが点滅するまで使いきってから充電してください。また、バッテリーパックは電池を使いきった状態で保管することをお薦めします。
- バッテリーを充電した後に長時間(2〜4週間以上)ご使用にならなかった場合、自然放電していることがあります。

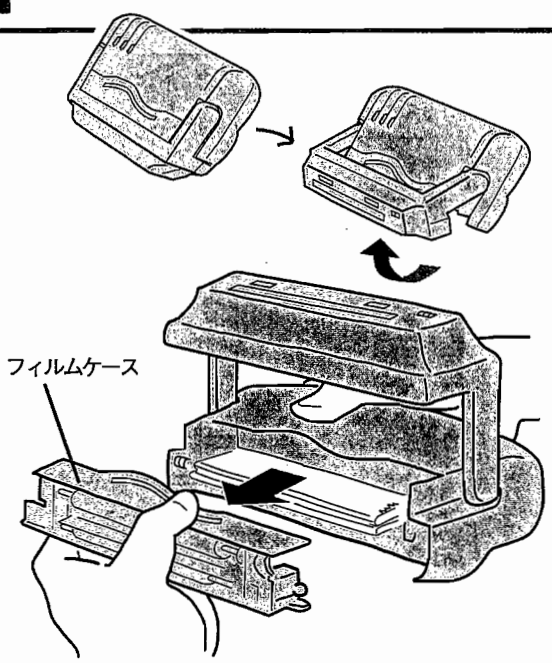


フィルムの取り付けかた

フィルムカセットの取り付け

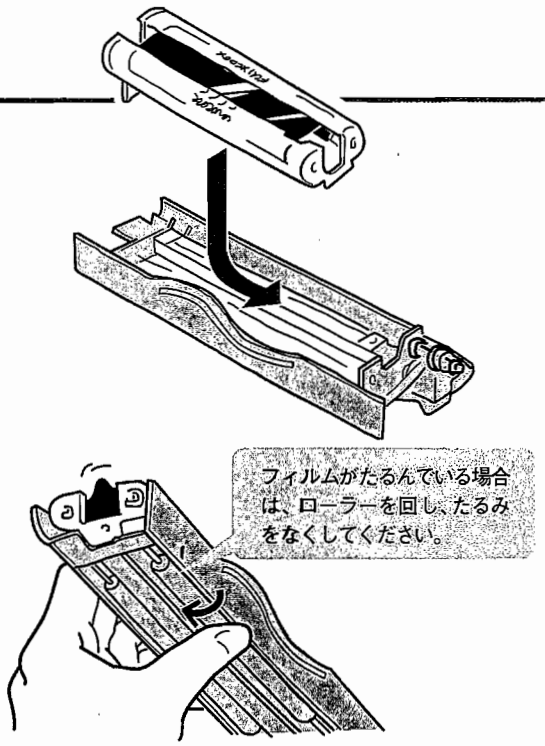
フィルムケースを本体から取り外し、フィルムカセットを取り付けます。

1



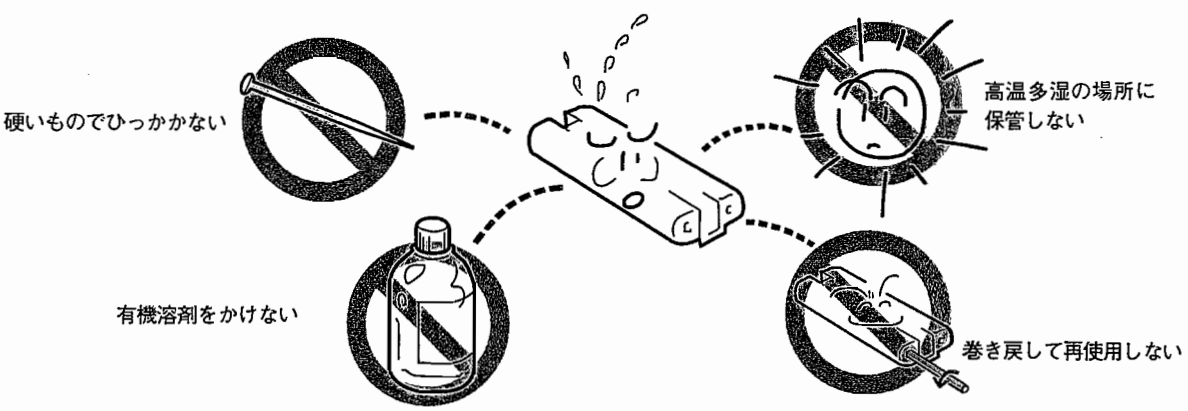
本体を折り曲げ、フィルムケースを取り外します。

2



フィルムカセットをフィルムケースに差し込みます。

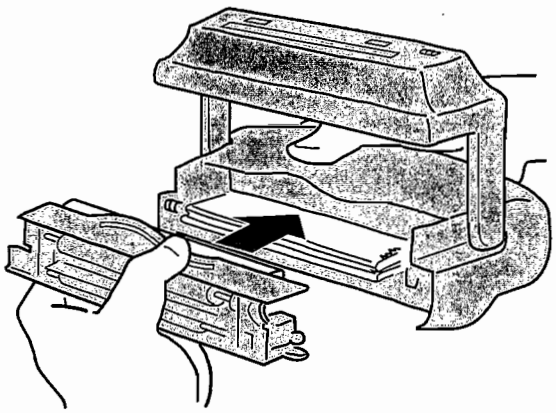
フィルムカセットの取り扱い上のご注意



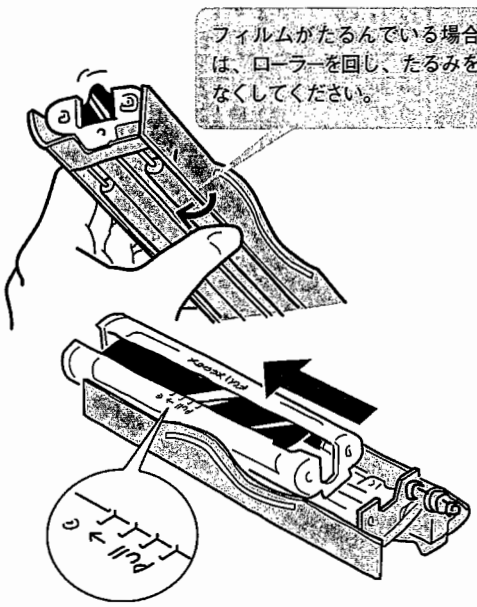
フィルムカセットの交換

フィルムがなくなったときや別の色のフィルムを使いたいときは、カセットを交換します。

3



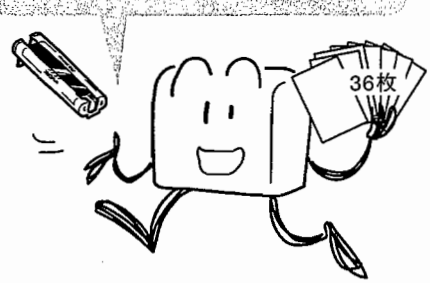
フィルムケースを取り付けます。



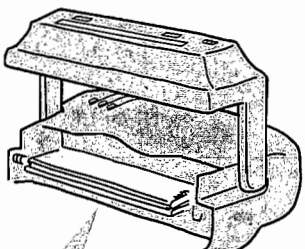
［Pull→］の方向にフィルムカセットを引き出し、新しいフィルムカセットを取り付けます。

フィルムカセットについて

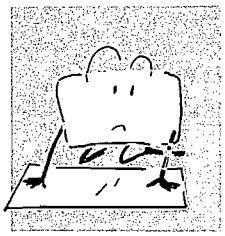
フィルムの長さは約7.5mです。
目安として、はがきサイズで約36枚分の転写ができます。
（使用条件により枚数は多少異なります。）



交換時のご注意

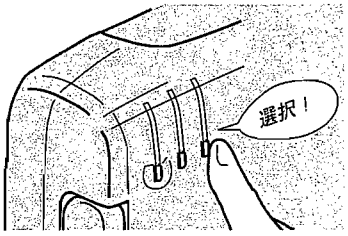


連続して転写をしたとき、
サーマルヘッドが高温になる場合がありますのでご注意ください。



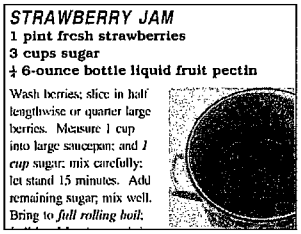
原稿について

原稿を読み取る前に、原稿のタイプを以下の３種類から選択します。
電源を入れた直後は文字タイプが選択されています。



40 50 58	7	
01 04 06 20 30 38 43 50	8	50
00 15 30 45	9	05 20
00 30	10	20 50
00 30	11	20 50
00 30	12	20 50
00 30	13	20 50
00 30	14	20 50

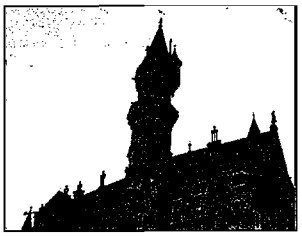
▲ 文字



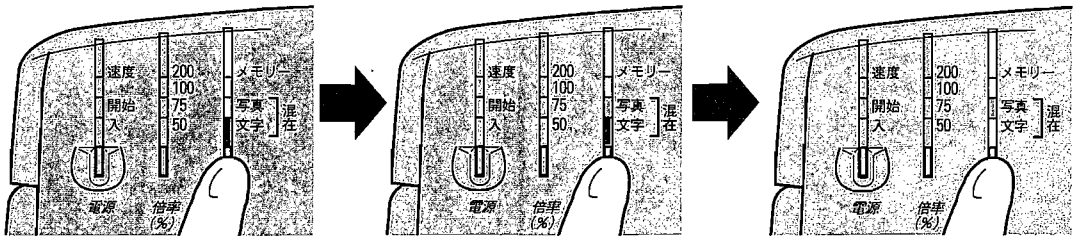
STRAWBERRY JAM
1 pint fresh strawberries
3 cups sugar
¼ 6-ounce bottle liquid fruit pectin

Wash berries; slice in half lengthwise or quarter large berries. Measure 1 cup into large saucepan; and *1 cup* sugar; mix carefully; let stand 15 minutes. Add remaining sugar; mix well. Bring to *full rolling boil*;

▲ （写真と文字の）混在

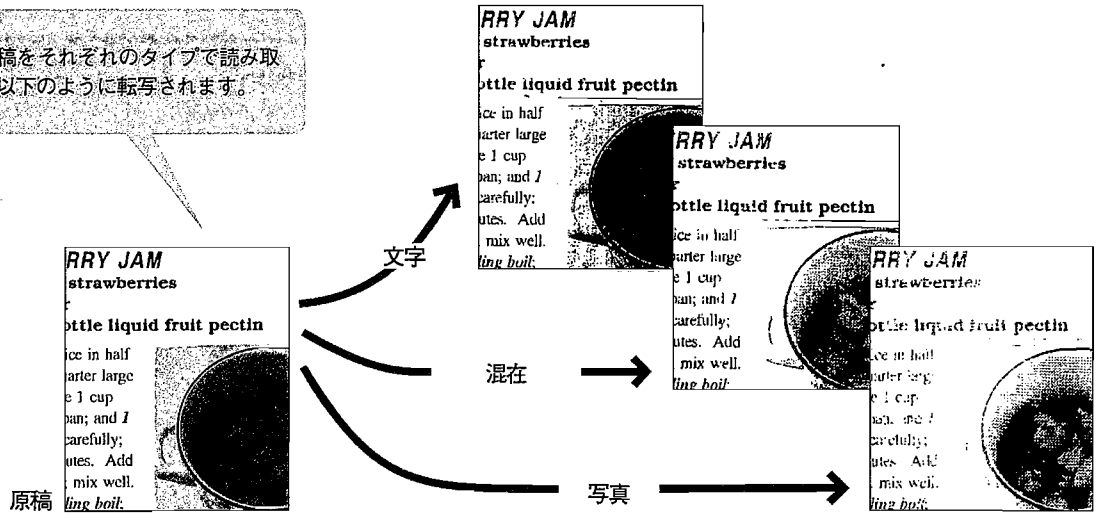


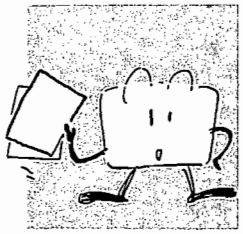
▲ 写真



原稿ボタンを押すごとに［文字］（緑色ランプ点灯）→［混在］（緑色・オレンジ色ランプ両方点灯）→［写真］（オレンジ色ランプ点灯）の順に切り替わります。

同じ原稿をそれぞれのタイプで読み取ると、以下のように転写されます。

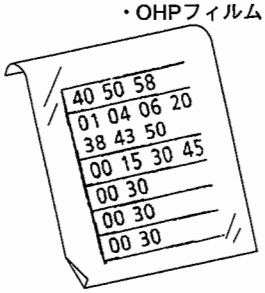
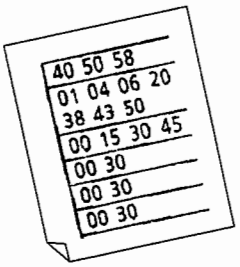
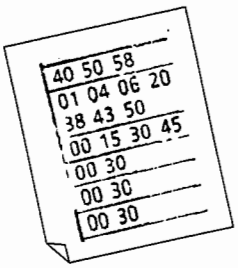
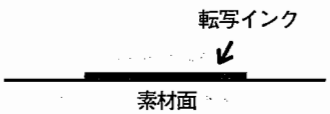
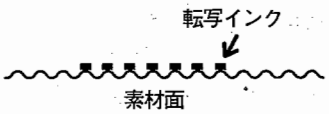
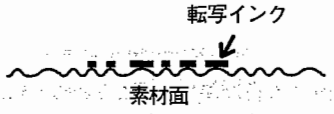




用紙について

写楽走はいろいろな紙に転写できますが、転写するものによって写りかたが異なります。表面が密な素材ほど良く写りますが、厚手の紙や硬い紙の場合はサーマルヘッド部が紙に密着しづらいため、部分的に抜けてしまうことがあります。用紙による転写の違いを知り、きれいなコピーをとってください。

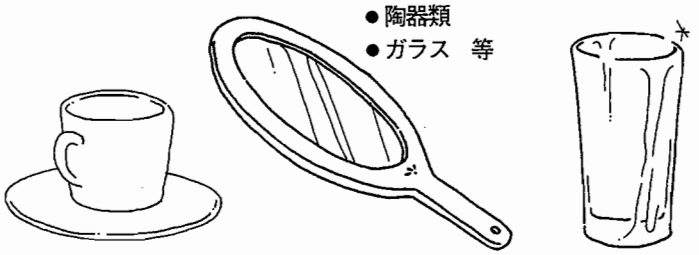
用紙の素材による転写の違い

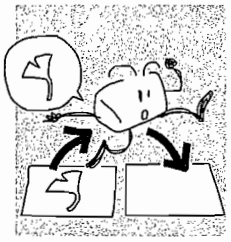
・ワープロ用紙 ・アート紙 ・OHPフィルム	・ノート ・コピー用紙 ・ハガキ	・画用紙 ・和紙
		
素材の表面がなめらかなので、よく写ります。 OHPフィルムには、OHP用カラーフィルム（別売品）を使って転写することをお勧めします。	素材の表面は多少ザラザラですが、画像の再現性は比較的高くなっています。	画像の再現性に欠け、薄く写ります。
		

※　感熱紙に転写することもできます。➔19ページ

転写できないもの　以下の物には転写できません。

- 金属類
- 陶器類
- ガラス　等

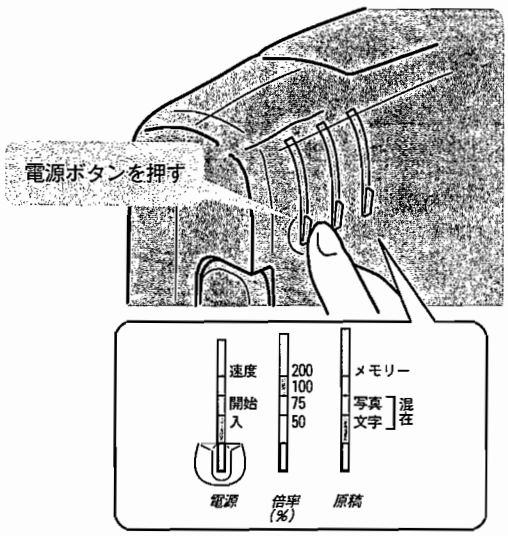




読み取り／転写

電源オン

1

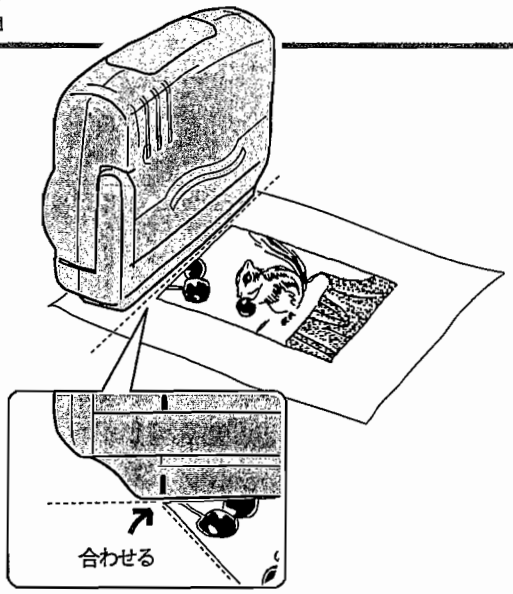


電源を入れます。
[入] [100 (%)] [文字] ランプが点灯します。
読み取る原稿のタイプを選択します。

➔8ページ

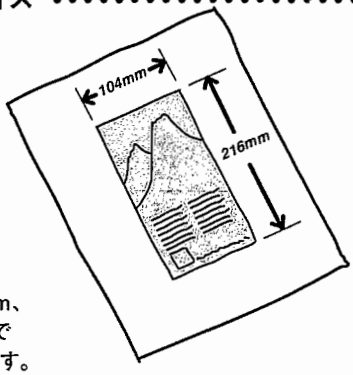
読み取り

2



読み取りを始める位置に本体の先端を合わせます。

読み取れる原稿サイズ

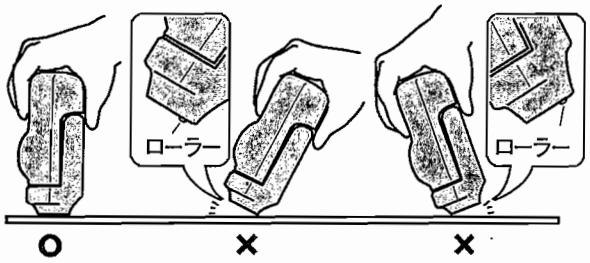


原稿は最大、幅104mm、
長さ216mmのものまで
読み取ることができます。
[メモリー] の赤色ランプが点灯したら
メモリーがいっぱいになったことを示します。

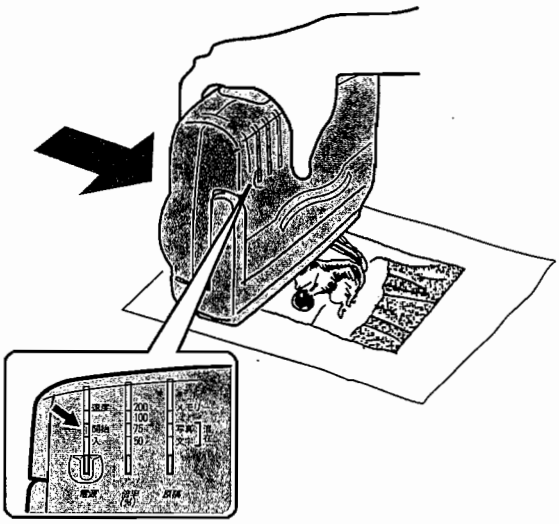
➔14ページ

読み取りのご注意

- 読み取るときは本体を原稿に密着させてください。
  ローラーが回らないと読み取りできません。
- クリップなどの硬いものの上を
  移動させないでください。

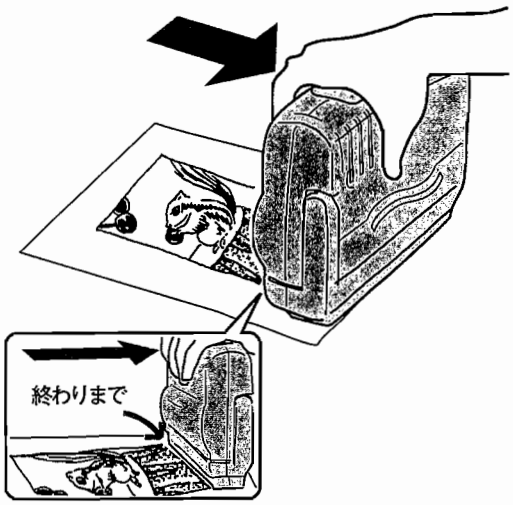


3



バッテリーパックの上部をにぎり、[開始] ランプが点灯するのを確認したら、手前にゆっくりと移動させます。

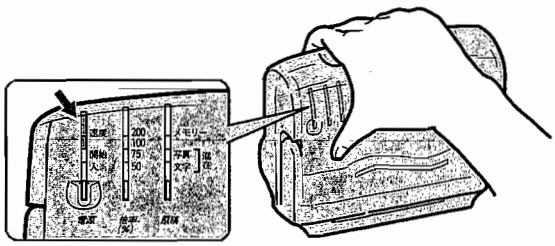
4



原稿の終わりまで本体を通過させます。

※ 読み取り間違えなどで、最初から読み取り直したい場合は、いったん電源を切り、再度電源を入れて読み取ってください。電源を切ると読み取った情報がすべて消去されます。

●その他のご注意 ➔14ページ
●ワンポイントアドバイス ➔18ページ



上手に読み取るための速度

読み取り速度が速いと、[速度] の赤色ランプが点灯し、画像が縮んでしまいます。緑色ランプが点灯するくらいの速さを目安に、均一の速度で引き寄せます。

▶ 読み取り／転写

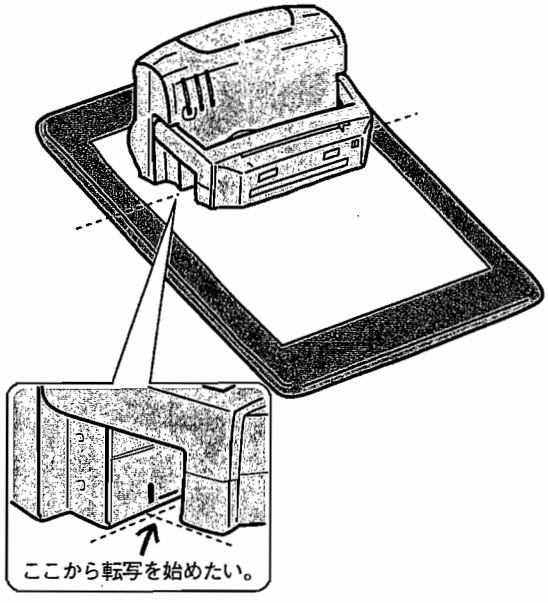
転写へ切り替え

転写

5

下敷きの上に用紙を置きます。

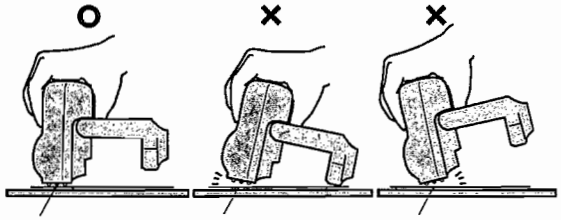
6

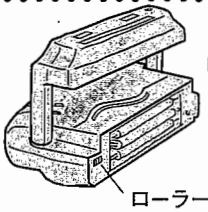


転写する位置を転写部の先端に合わせます。

転写の注意

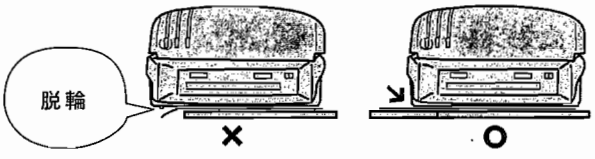
転写するときは本体を垂直にし、サーマルヘッドを密着させてください。サーマルヘッドが浮くと、本体は停止し転写できません。



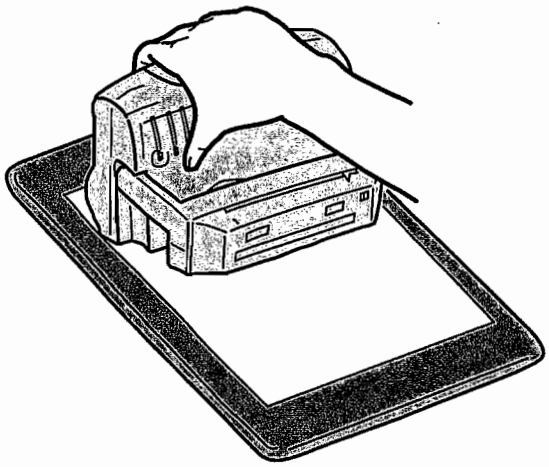


ローラーが脱輪すると転写できません。

同じ高さのものをあてて脱輪させないようにしてください。

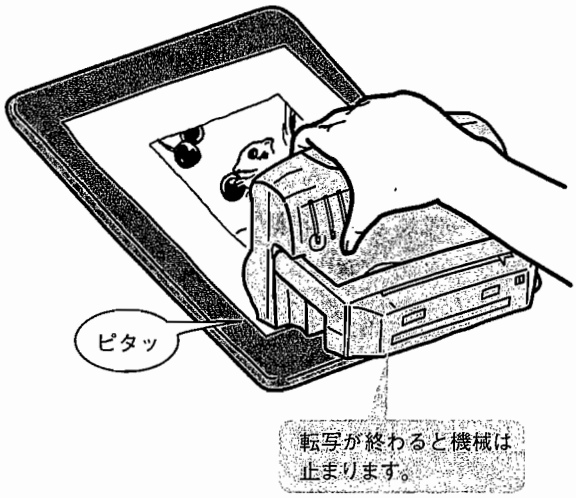


7



バッテリーパックの上部をにぎりながら、本体を軽く用紙に押し当てると転写が始まります。

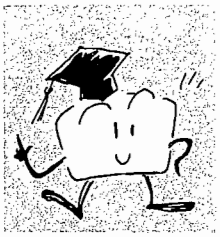
8



手のひらでにぎったままの状態で、機械の速度に合わせて手前に移動させます。

●その他のご注意 ➔14ページ
●ワンポイントアドバイス ➔18ページ

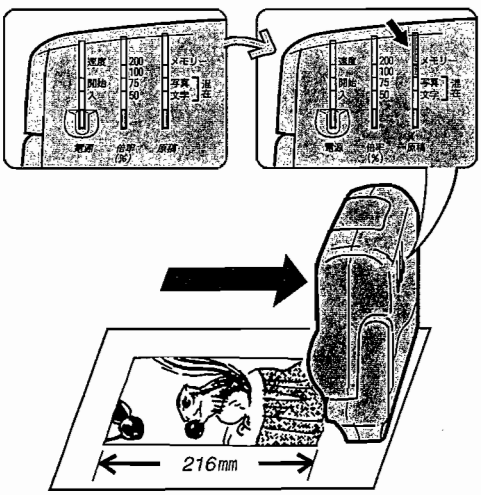
ローラーが脱輪すると本体は停止し、[開始]ランプが消灯します。
その場合は、機械を正しくセットし直し、初めから転写をしてください。



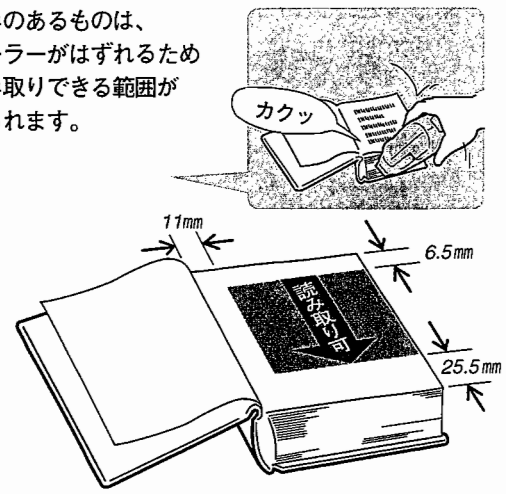
読み取り／転写のご注意

読み取り

[メモリー] の赤色ランプが点灯したら、メモリーがいっぱいになった合図です。それ以上読み取ることはできません。



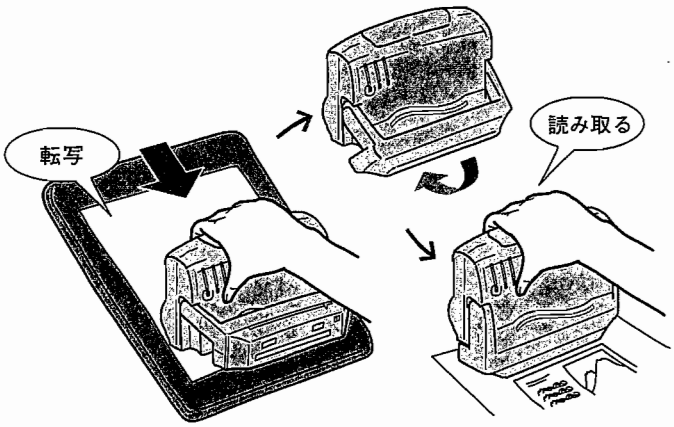
ノートや冊子など
厚みのあるものは、
ローラーがはずれるため
読み取りできる範囲が
限られます。



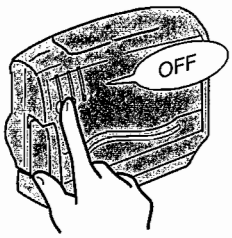
（原稿の状態によって範囲は多少異なります。）

以下のような場合には、読み取った情報が消えてしまいますので、十分注意してください。

● 転写後、本体を読み取り状態に戻し、
新たに原稿を読み取ったとき



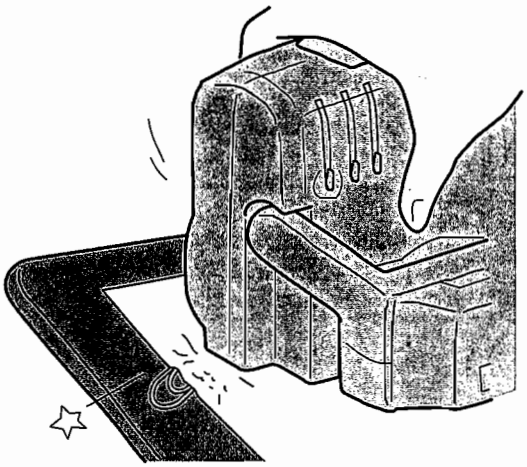
● 電源を切ったとき



● オートパワーオフ機能がはたらいたとき
本体を操作をしない状態で約 6 分間放置すると、自動的に電源が切れます。

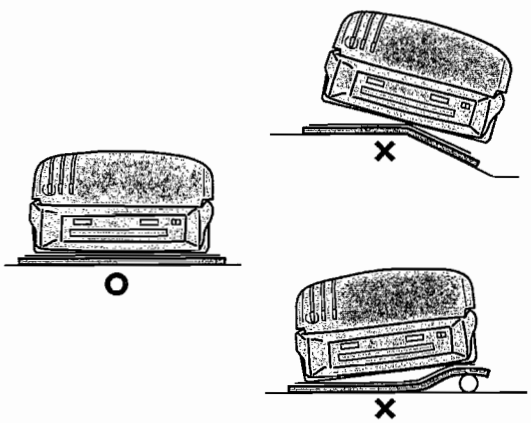
転写

画像がぬけたり薄くなることがありますので転写するときは、下敷きを敷いてください。

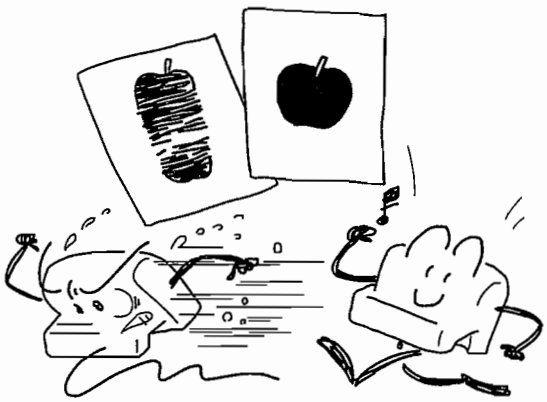


クリップなどの硬いものの上を
移動させないでください。
サーマルヘッド損傷の原因になります。

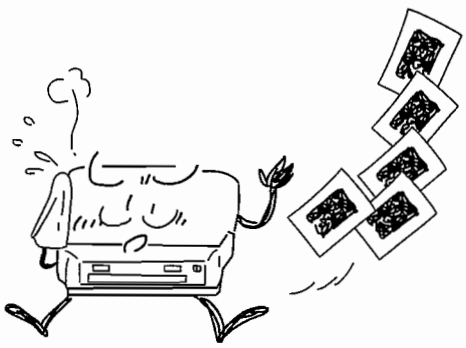
転写は平らな場所で行ってください。

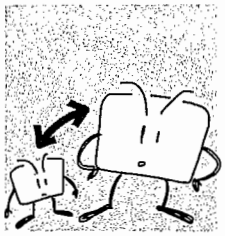


転写する速度は、
必ず本体の動く速度に合わせてください。
無理に手前に引き寄せたり止めたりすると、
画像が乱れます。



ベタ（黒い部分）の多い原稿を連続して転写すると、
オーバーヒートして内部の保護回路がはたらき、一時的に使用できなくなることがあります。
（電源の［入］ランプが消灯します。）
その場合は、10分程度放置すると正常に戻り［入］ランプが点灯します。

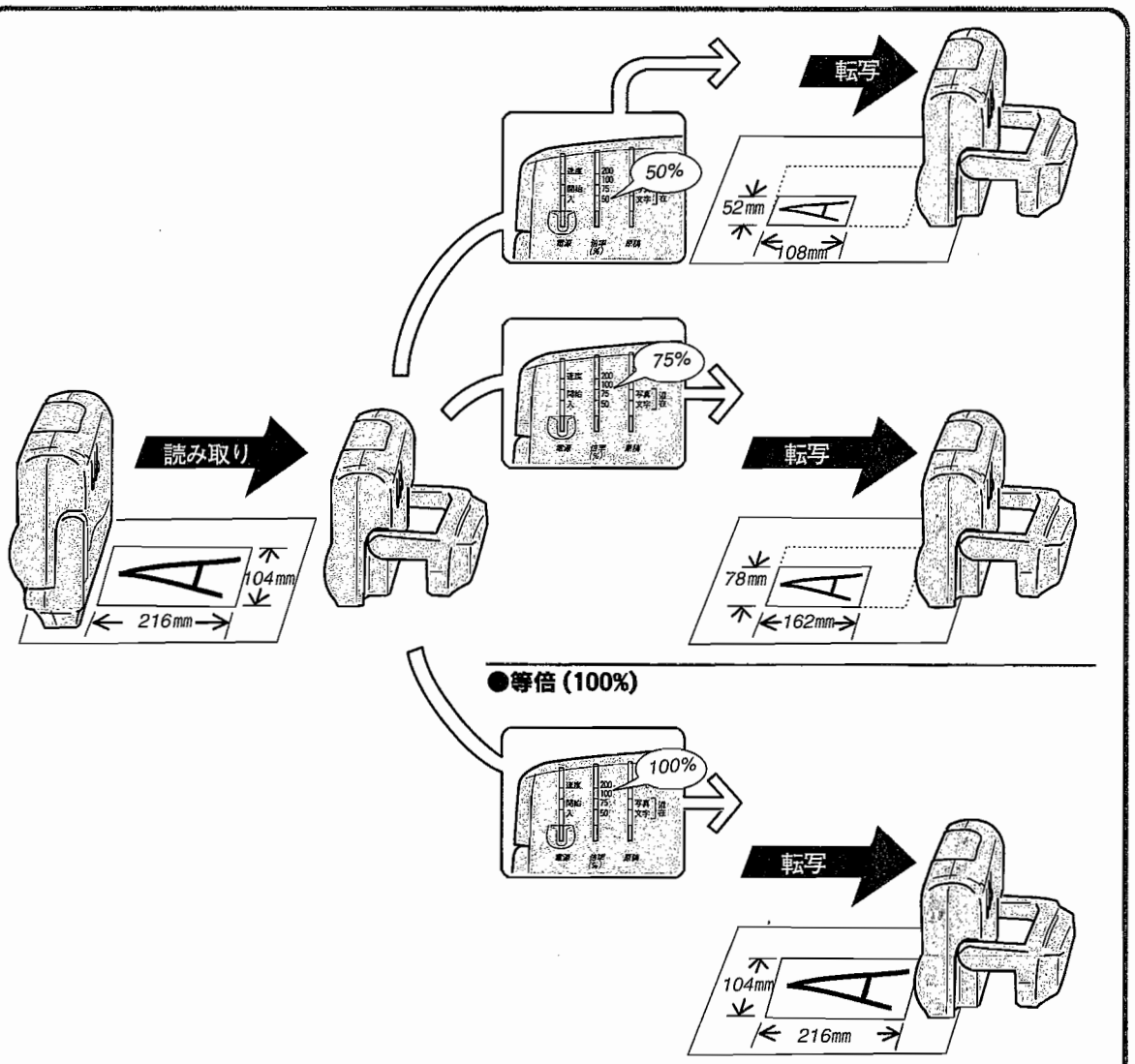




縮小／拡大して転写

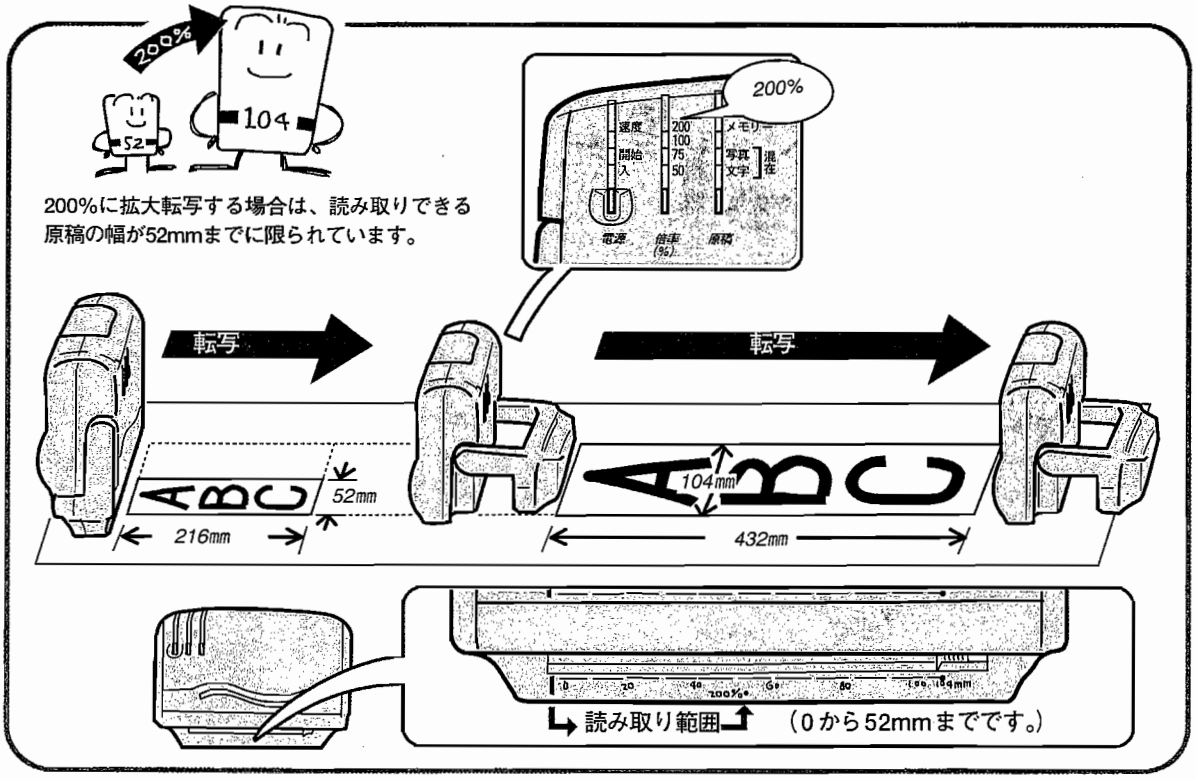
縮小や拡大して転写するときは、転写前に倍率（%）ボタンで倍率を選びます。
倍率（%）ボタンを押すたびに、[100%] → [200%] → [50%] → [75%] → [100%] の順に切り替わります。
読み取りのときに、転写倍率を選ぶことはできません。転写するときに選択します。
読み取りの状態（折り曲げていない状態）に本体を戻すと [100%] に戻ります。

縮小／等倍



一度転写した後に、他の倍率に変えて転写することもできます。

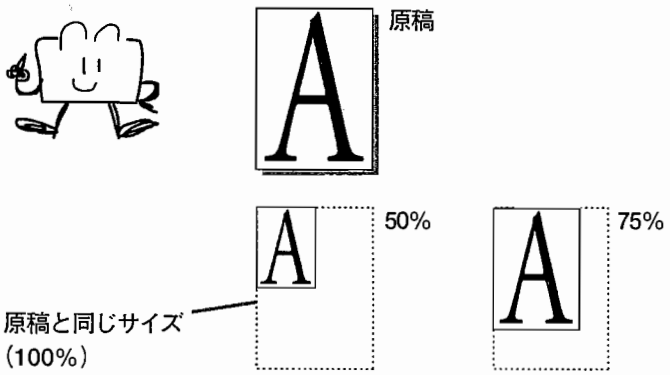
拡大



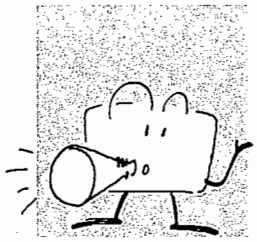
200%に拡大転写する場合は、読み取りできる原稿の幅が52mmまでに限られています。

原稿と、縮小／拡大した転写結果の比較

縮小／拡大は縦横の線比を示しています。

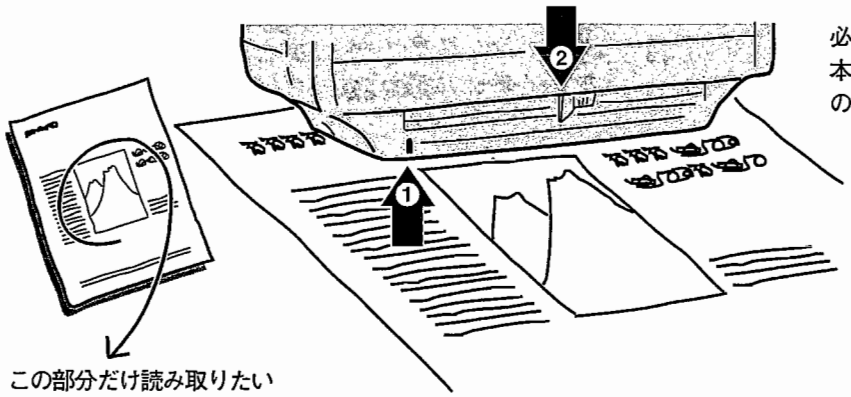


※ 104mm幅の原稿を読み取り、200%に拡大すると原稿の一部しか転写されません。



ワンポイントアドバイス

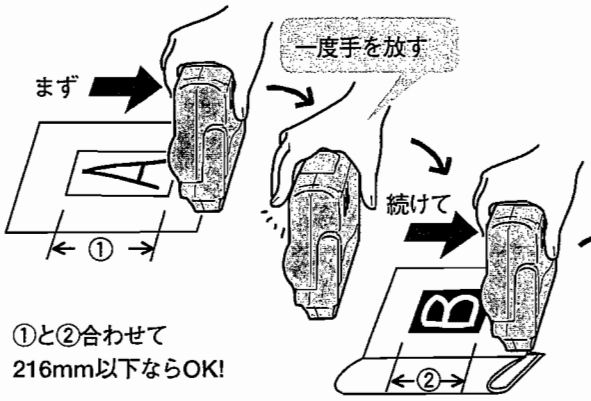
必要な部分だけ読み取るとき



必要な部分の左端に①を合わせて本体を置き、レバーを動かして②の原稿右端に合わせます。

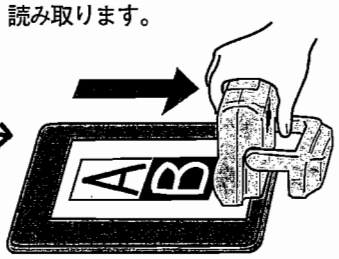
レバーは2mm間隔で設定できます。

複数の原稿を続けて読み取りたいとき



①と②合わせて
216mm以下ならOK!

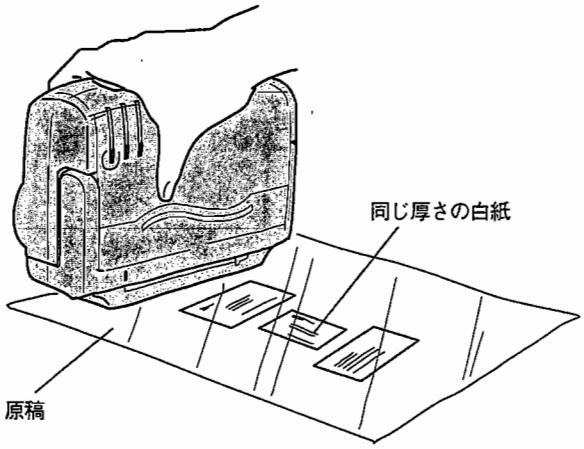
メモリー容量がいっぱい(長さ216mm)になるまでは、別の原稿をつづけて読み取れます。
①の原稿を読み取った後、手を放して②の原稿を読み取ります。



合成して転写されます。

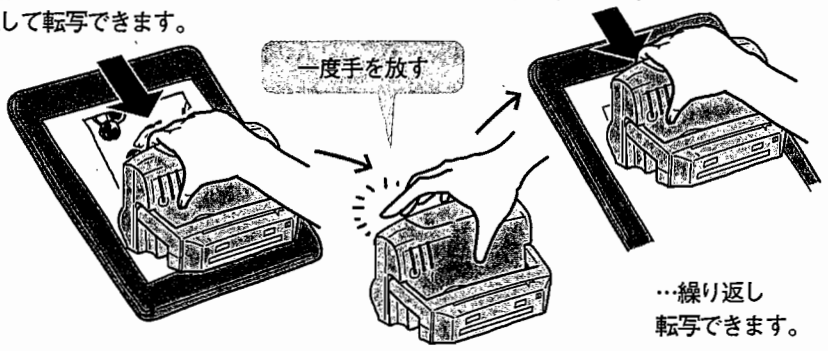
小さい原稿を読み取るとき

名刺のような小さい原稿を読み取る場合は、上からOHPフィルムなどをかぶせると読み取りやすくなります。



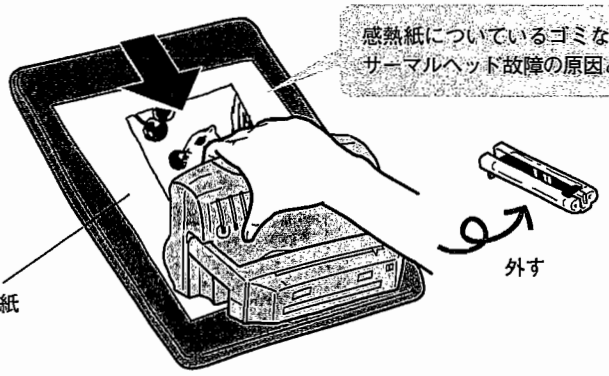
繰り返して転写するとき

一度読み取ったものは、電源を切ったり、新たに原稿を読み取らない限り連続して転写できます。



…繰り返し
転写できます。

感熱紙に転写するとき



読み取りは通常の
操作と同じです。

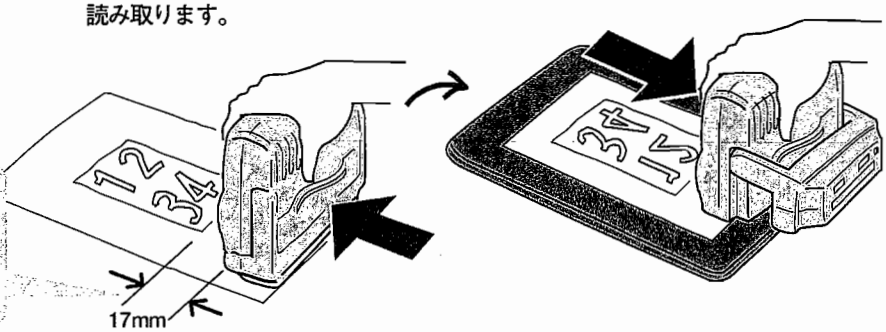
フィルムカセットを取り付けずに
転写します。

※ フィルムを取り付けない場合でも、
フィルムケースは必ず本体に取り
付けてください。

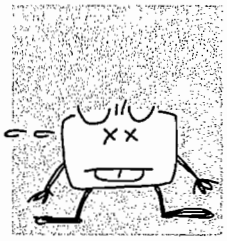
感熱紙に転写するとき

逆方向に
読み取ります。

転写は、通常の方法で行います。
逆方向には動きません。



開始位置の
約17mm手前に
本体の後端を合わせて
読み取ってください。

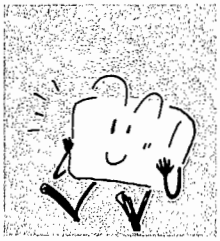


故障かな？とお考えの前に

ご使用中に異常が発生したときは、まず次のことを確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。

症　状	チェック事項	処　置
電源が入らない 電源を入れても機械が動作しない	バッテリーパックが消耗していませんか？	付属の充電器でバッテリーパックを充電してください。 ➔4ページ
	バッテリーパックはきちんと取り付けられていますか？	バッテリーパックは、ミゾに合わせて正しく取り付けてください。➔4ページ
	[入] ランプが消灯しているのに、[倍率] ランプと [原稿] ランプが点灯していませんか？	オーバーヒートです。10分程度放置すると正常に戻ります。
読み取りができない	読み取りの状態になっていますか？	本体を読み取りの状態（本体を折り曲げていない状態）にしてください。➔10ページ
	［開始］ランプは点灯しましたか？	バッテリーパック上部をにぎると、スイッチが入り [開始] ランプが点灯します。読み取るときは、バッテリーパックの上部をにぎったまま、手前に引き寄せてください。➔11ページ
	読み取りローラーが浮いていませんでしたか？	読み取りローラーを密着させて読み取ってください。 ➔10ページ
	読み取り幅のレバーが左端になっていませんか？	読み取り幅のレバーを右端に戻して読み取ってください。
転写ができない	転写の状態になっていますか？	本体を転写の状態（本体を折り曲げた状態）にしてください。 ➔12ページ
	バッテリーパックが消耗していませんか？ [入] ランプが点滅していませんか？	付属の充電器でバッテリーパックを充電してください。 ➔4ページ
	フィルムカセットはセットされていますか？	フィルムカセットを取り付けてください。➔6ページ
	電源が切れていませんか？ オートパワーオフがはたらいていませんか？	電源ボタンを押し、電源を入れてください。何もしない状態で、約6分以上放置すると自動的に電源が切れます。 操作を続けるときは、再度電源を入れて読み取り操作から始めてください。
	バッテリーパック上部をにぎりましたか？	バッテリーパック上部をにぎり、軽く用紙に押し当てるとスイッチが入り、自動的に転写を開始します。機械が停止するまでバッテリーパック上部をにぎったままにします。➔13ページ
	転写ローラーが浮いていませんか？	転写ローラーが浮かないように、用紙に密着させて転写してください。➔12ページ
	サーマルヘッドが浮いた状態で操作していませんか？ 本体を前後に傾かせて転写しませんでしたか？	転写のときは、バッテリーパック上部をにぎり、軽く用紙に押し当てて、そのまま機械の速度に合わせて移動します。 ➔13ページ
原稿ボタンが選択できない	転写のときに原稿ボタンを選択していませんか？	原稿ボタンは、読み取る前に選択してください。 ➔8,10ページ

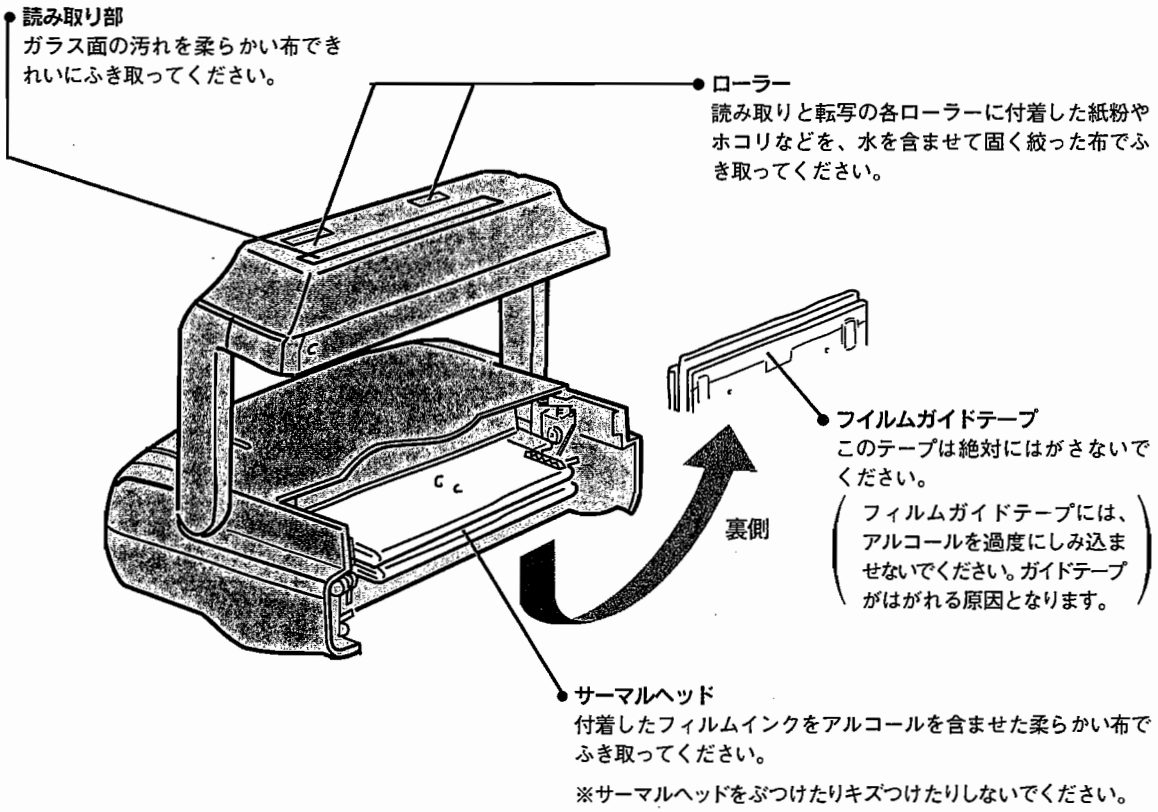
症　状	チェック事項	処　置
転写の倍率が選択できない	読み取る前に転写の倍率を選択していませんか？	倍率ボタンは、転写する前に選択してください。読み取りのときに、縮小拡大の選択はできません。➔16ページ
縮小／拡大ができない	転写をしながら倍率の選択をしていませんか？	倍率ボタンは、転写する前に選択してください。➔16ページ
転写するとフィルムがとび出す	転写のとき後ろのローラーだけが回って、前のローラーが浮いていませんでしたか？	フィルムケースを取り外し、フィルムカセットのローラーを回してフィルムのたるみをなくします。➔7ページ 転写するときは、バッテリーパック上部をにぎり、本体を軽く用紙に押し当てるようにします。本体を強くにぎると前後のローラーが浮きやすくなります。
	転写するとき、無理に手前に引き寄せませんでしたか？	フィルムケースを取り外し、フィルムカセットのローラーを回してフィルムのたるみをなくします。➔7ページ 転写するときは、バッテリーパック上部を軽くにぎった状態で、機械の速度に合わせて手前に移動させます。無理に手前に引き寄せないでください。
画像にスジが入る 画像が部分的にぬける	読み取り部のガラス面が汚れていませんか？	柔らかい乾いた布で、読み取り部をふいてください。➔22ページ
	平らな場所で転写しましたか？	下敷きを敷き、用紙を平らにして、もう一度転写してください。
	フィルムにシワがよっていませんか？	フィルムを入れ直してください。転写するとき、本体を無理に引き寄せたり、必要以上に用紙に押し当てたりしないでください。
	サーマルヘッドが汚れていませんか？	柔らかい布にアルコールを含ませ、清掃してください。➔22ページ
画像の写りが悪い	原稿ボタンの選択を間違えていませんか？	読み取る原稿に合わせて、文字、混在、写真のどれかを選択してから読み取ってください。➔8ページ
	原稿を読み取るときに、読み取り部が原稿から浮いていたり斜めになっていませんでしたか？	もう一度読み取り直してください。読み取るときは、読み取り部を原稿に密着させてください。➔10ページ
	転写するとき下敷きを使用しましたか？	下敷きを敷いて、転写してください。
	平らな場所で転写しましたか？	平らな場所に下敷きを敷き、もう一度転写してください。
	用紙の表面がザラザラしていませんか？	表面のなめらかな用紙を使ってください。➔9ページ
画像が伸びたり縮んだりする	読み取るとき、[速度] ランプの赤色が点灯しませんでしたか？	読み取る速度が速すぎます。[速度] ランプの緑色が点灯するくらいの速さで、読み取り直してください。
	転写するとき、無理に手前に引き寄せたり止めたりしませんでしたか？	転写するときは、無理に手前に引き寄せたり止めたりしないで機械の速度に合わせて手前に移動させてください。➔13ページ
繰り返して転写ができない	バッテリーパック上部をにぎったまま転写を続けていませんか？	転写するたびに、いったん手を放してから再度転写してください。➔19ページ
転写のときスムーズに移動ができない	本体を必要以上に強く押しつけていませんか？	転写は、バッテリーパック上部をにぎった状態で本体を軽く用紙に押し当てるようにします。
	転写面は平らですか？	平らな場所で転写してください。



日常のお手入れとご注意

日常のお手入れ

本体は、柔らかい乾いた布でふいてください。
シンナー、アルコール、ベンジンなどの有機溶剤や化学ぞうきんでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。



使用上のご注意

- 保管や携帯の際は、機械の保護のためソフトケースに入れて持ち運んでください。
- 本機を0℃前後の冷えた所から暖かい所へ急に移したときや、湿気の多いときなどに使用すると、画像が乱れることがあります。これは機械の内外部に露が発生するためで、しばらく放置すると正常に戻ります。
- 保管するときは、ソフトケースに入れてください。また、直射日光の当たる場所、高温多湿になる場所、ホコリの多い場所に保管しないでください。
- テレビやスピーカーなど磁気が強いものの上に放置しないでください。

コピー禁止についてのご注意

ご自分で利用するものだからといって何をコピーしてもよいとは限りません。特に紙幣、貨幣、政府発行の有価証券等は、法律によってコピーすることが禁止されていますのでご注意ください。

〈著作権について〉

本機でコピーしたものは、個人として使用する以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

受信障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源をいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- この商品とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（詳細は電器店などにご相談ください。）
- アンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

主な仕様／別売品について

主な仕様

●本体

読み取り可能サイズ	最大 104×216mm
転写可能サイズ	最大 104×216mm 200%拡大時は　長さ最大432mm
転写解像度	8 dots／mm
読み取りスピード	最大85mm／秒
転写スピード	最大30mm／秒
外形寸法	幅166×高さ110×奥行48mm
質量	約680g（バッテリーパックとフィルムカセット含む）
電源	充電式ニカド畜電池（バッテリーパック） 公称電圧 DC13.2V 公称容量 270mAh

バッテリー充電時間	付属充電器で約 4 時間
消費電力	83W
使用環境温度	5 ～ 35℃
使用環境湿度	15～ 85%(RH)　ただし結露なきこと
保存環境温度	-5 ～ 60℃
保存環境湿度	10～ 85%(RH)　ただし結露なきこと
フィルムの長さ	7.5 m

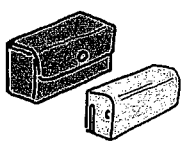
（参考：満充電では常温（25℃）で操作した場合、新聞の株式欄の原稿104×216mmサイズが連続して約60枚転写可能です。なお、上記連続使用可能枚数は、使用状況により異なります。）

●充電器（4時間）

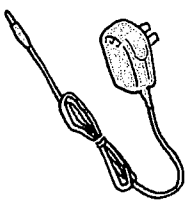
電源	AC 100±10V (50 /60Hz 共用) 5VA
コードの長さ	約1.8m
質量	約190 g

商品の仕様・外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

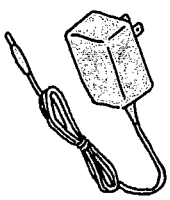
別売品について



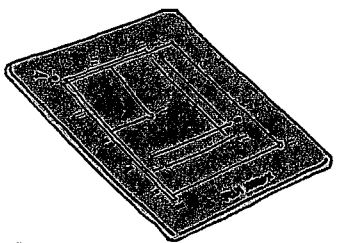
● バッテリーパック　型番 YB 23



● 4 時間充電器　型番 YB 21

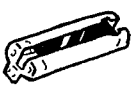


● 1 時間充電器　型番 YB 22



● 下敷き　型番 S 313

● カラーフィルムカセット



- ブラックシングル　型番 S 318
- ビビッドレッドシングル　型番 S 389
- ビビッドブルーシングル　型番 S 390
- ビビッドグリーンシングル　型番 S 391
- ゴールドシングル　型番 S 324
- シルバーシングル　型番 S 325
- 黒 6 本セット　型番 S 339
- 透明 3 色セット（OHP用赤／青／緑）　型番 S 330
- ビビッド 3 色セット（鮮明赤／青／緑）　型番 S 331

アフターサービスについて

① 保証書は販売店名、購入年月日などの記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。また、保証書は内容をよくご覧の上、大切に保管してください。

② 修理に出されるとき

- 保証期間内は保証書の規定に基づいて修理いたします。お買い上げの販売店にご持参ください。
- 保証期間経過後に関しましても、修理によって使用可能なものについては、ご要望により有料修理いたします。

③ 補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後７年となっております。

④ アフターサービスについてのご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社修理相談窓口にお問い合わせください。

修理相談窓口 **TEL. 03-3340-2918**

● memo

memo ●

● memo

保証規定

本書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
   また、ご転居やご贈答などで、お買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、下記の修理相談窓口にお問い合わせください。

2. 保証期間中であっても次の各号に該当する場合は、有償修理といたします。
   （1） 本書のご提示がない場合
   （2） 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、また字句を書きかえられた場合
   （3） 使用上の誤り、または弊社指定以外の者による修理や改造による故障および損傷
   （4） お買い上げ後の輸送、移動時の落下、衝撃時により生じた故障および損傷
   （5） 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   （6） 消耗品の供給および交換

3. 本書は日本国においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

4. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

富士ゼロックス（株）
修理相談窓口　TEL. 03-3340-2918

富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センター へご連絡ください。
フリーダイヤル 0120-27-4100

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日を除く9～12時、13～17時、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用できません。全国通話ができる電話機をご使用ください。

写楽走　取扱説明書

著作者 ———— 富士ゼロックス株式会社
ドキュメントエンジニアリング部

発行者 ———— 富士ゼロックス株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-22
電話 03(3585)3211

発行年月 ———— 1993年11月　第1版
1996年8月　第2版
1998年2月　第3版

Printed in Japan

保証書

このたびは、富士ゼロックス製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書は、裏面の保証規定により、製品を無償にて修理することをお約束するものです。
お買い上げから下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店様へ	販売時にお買い上げ年月日、販売店名を必ずご記入の上、お客様に本書をお渡しください。
お客様へ	下記事項および販売店名が記入されていない場合、本書は無効となることがありますので必ずご記入の有無をご確認ください。記入がない場合には、お買い上げ販売店にお申し出になるか、領収書等お買い上げ年月日、店名を証明するものを添付しておいてください。

製品名	写楽走	型 番	YB 11
保証期間	お買い上げ日から1年間有効です。		
お買い上げ日	年 月 日		
お客様	お名前 様		
	ご住所		
	電話番号 ( ) -		
販売店	店名		
	ご住所		
	電話番号 ( ) -		

富士ゼロックス株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-22
電話 (03)3585-3211 (代)

富士ゼロックス株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-22
電話 03 (3585) 3211 (代)

3版1刷
1998年2月
45E92590
帳票No. HP-040